

7 平成 30 年度北海道胆振東部地震を

振り返る意見交換会

地震発生前夜から 1 週間後までの地域の対応を振り返り、そこで得られた課題や教訓を各地域で共有し、今後の地区防災計画の取組に活かすことを目的に、(国研)防災科学技術研究所と共催で意見交換会を実施した。

(1) 概要

日時	平成 30 年 11 月 27 日 (火) 14:00~17:00
場所	札幌文化芸術交流センター 1 階 SCARTS コート
出席者	計 41 名 (参加団体 12 地区) 一般社団法人西創成親和会、盤渓地区、札幌時計台ビル、共済ホール、ロイヤルシヤトー新琴似、元町まちづくり連合会、北郷親米第一町内会、白石東地区町内会連合会、厚別西厚信会、西岡地区町内会連合会、東月寒地区町内会連合会、真駒内地区連合会
講師	国立研究開発法人 防災科学技術研究所 社会防災システム研究部門 主任研究員 李 泰榮 (い てよん) 氏
来賓	内閣府 政策統括官 (防災担当) 付企画官 (普及啓発・連携担当) 石垣 和子 様

(2) プログラム

	時間	内容
開会	14:00~14:10	趣旨説明
説明	14:10~14:30	ワークショップの進め方の説明
議論	14:30~16:40	地震発生前夜から 1 週間後までの対応経験についてテーマ別に整理 ・テーマ 1 被害状況の把握と要支援者対応 ・テーマ 2 避難所の開設と運営 ・テーマ 3 避難生活
発表	16:40~17:00	各グループの結果発表と全体共有
閉会	17:00	閉会挨拶等

(3) 意見・課題等

- ・手分けをして地震当日の正午までに安否確認を終えることが出来た。
- ・観光客が避難所に大勢訪れた際の対応方法が分からなかった。
- ・停電で避難所のトイレが使用出来ず、水の確保が大変であった。
- ・町内会での役割が不明確であったため、決める必要がある。
- ・町内会と小中学校との日頃の繋がりが重要であると感じた。

